常陸太田で中学生ソフトテニス熱戦

常陸太田ロータリークラブ（RC、後藤敏文会長）主催の第42回中学生ソフトテニス大会が8月29日、常陸太田市新宿町の山吹運動公園で開かれ、選手たちが熱戦を繰り広げた。

大会は青少年の健全育成支援の一環として同クラブが毎年開催しており、市内の中学校から約50人が出場。男女ダブルスで予選リーグと決勝トーナメントを行い、日頃の練習の成果を競った。

今年の大会は新型コロナウイルス感染防止のため、保護者らの応援を自粛してもらったほか、開会式や閉会式を選手らが一同に集まらない形式で行うなど、感染対策に配慮しながら運営した。

上位成績は次の通り。（敬称略）

▽男子　①大部輝理・牛木陸斗（峰山）②山田大貴・渡辺祥也（世谷）

▽女子　①柏昊芽・豊田すみれ（瑞竜）②鈴木愛織・工藤暖華（金砂郷）

入賞した選手たち＝常陸太田市新宿町の山吹運動公園

小美玉の魅力 中央高生発表

茨城大と協力

高校生の視点で小美玉市の魅力を掘り起こそうと、市は茨城大の協力を得て2日、同市張星の県立中央高で「魅力創造ワーク」を行った＝写真。

同大人文社会科学部が主催する「茨城の魅力を探究し発信する高校生コンテスト」（通称いばたん）のPRを兼ねて実施され、同高の1年生約200人が参加。市職員が市の魅力を紹介し、生徒は「もともと知っていた魅力」「初めて知った魅力」「説明を受け気付いたこと」をシートに書き込んだ。

最後に生徒がまとめた魅力を発表。「茨城空港」「ヨーグルト」「牛との触れ合い」などを挙げ、「小美玉に住んでいないがすてきなまちなんだと分かった」「まだまだ知らない魅力がある

絵で地域の宝伝える

土浦ユネスコ、作品募集

土浦ユネスコ協会（稲本修一会長）は、身近な自然環境の素晴らしさや地域の文化財、名産品などを見つめ直すことを目的に開催する「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの絵画展」の作品を募集している。10月30日締め切り。先着100点まで。

例年は土浦市内の小中学生を対象に開催しているが、今回は市内在住、在勤、在学の人全員が対象。テーマは「わたしのまちのたからもの」で、地域の街並みや風景、文化財、名産品などを自由に表現したもの。作品は四つ切りの画用紙に水彩・パステルクレヨンなどで描いたもの。油絵は不可。

応募作品は12月1～15日まで土浦市役所本庁2階に展示される。応募先、問い合わせは同市市民活動課内土浦ユネスコ協会事務局☎029（826）1111へ。

「きものday結城」11月に予定通り実施

初の回遊型イベントも

結城市は、毎年11月に北部市街地で開催している着物で街歩きを楽しむ「きものday結城」を11月14、15の両日、予定通り実施する。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を行った上で実施し、初の試みとして同月7日から22日まで

もらう回遊型イベントも開催する。

「きものday結城」は、今年で12回目を迎える。観光ガイドによる街なか散策や「和」をテーマにしたワークショップなども企画され、昨年は2日間で約6千人が来場した。例年、結城紬（つむぎ）の貸し出しや着付けも行うが、今年は3密につながる着付けは行わず、自身で着付けができる来場者のみ

事業者様、必見です!!
参加者